

ワーキンググループの今後の進め方

- ・分野横断的技術政策の方向性について、当WGにて令和6年度1年をかけて議論する。
- ・8月頃の中間とりまとめに向けて、異分野の有識者からヒアリングを行いたい。

1. 今年度WGの進め方(案)

| | | |
|------|-------|--|
| 6/14 | 第1回WG | ○論点整理 ○委員からの話題提供 『技術の社会実装について(建設分野)』(春日委員) |
| 7月 | 第2回WG | ○委員からの話題提供 『技術の社会実装について(デジタル技術)』(須崎委員) ○異分野の有識者からのヒアリング ・技術の社会実装及び普及 ・社会的信頼性のための品質確保 |
| ↷ | 第3回WG | ○委員からの話題提供 ○中間とりまとめ(骨子案) |
| 8月 | 第4回WG | ○中間とりまとめ |
| 9月以降 | | 引き続きWGを開催し残りの議題を議論 |
| 今年度中 | | とりまとめ |

2. 成果について

WGで得られた成果は、第36回技術部会(第4四半期を予定)へ報告し、次期技術基本計画に反映する。

3. 次年度以降(次期技術基本計画策定以降)

必要に応じて、WGの開催を検討する。